



平成 27 年 5 月 11 日

各 位

上場会社名 T O W A 株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 岡田 博和  
コード番号 6315  
問合せ先責任者 執行役員経営企画本部長  
蒲生 喜代重  
TEL (075) 692 - 0251

## 営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期連結業績において、下記のとおり営業外収益（為替差益）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益の金額

当社は、為替相場の変動により、平成 27 年 3 月期連結業績において、為替差益 563 百万円を営業外収益に計上いたしました。これは主に、外貨建て資産等の評価替えによるもの（181 百万円）及び海外子会社連結時の為替換算による影響によるもの（381 百万円）であります。

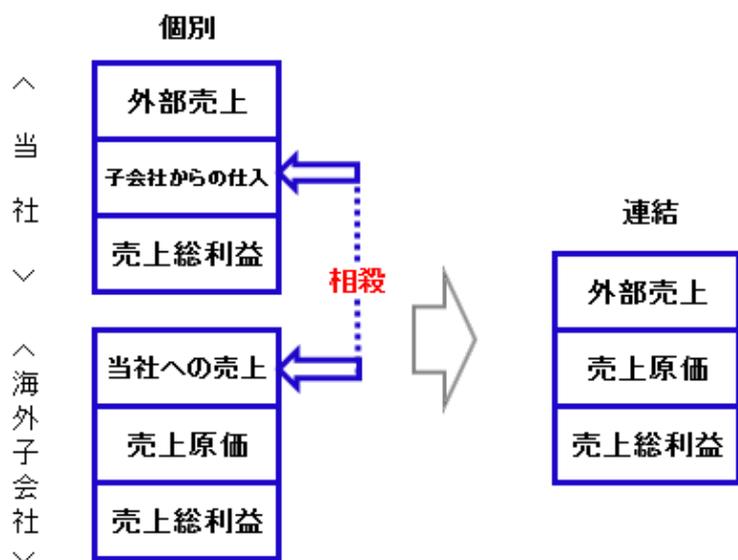
#### 2. その他

本影響を含めた平成 27 年 3 月期連結業績につきましては、本日公表の「平成 27 年 3 月期決算短信」をご参照ください。

なお、上記の海外子会社連結時の為替換算による影響（381 百万円）は、連結決算処理により発生するものであり、当社グループの期間損益が直接的な影響を受けたものではありません（詳細は別紙図 1 および図 2 をご参照ください）。

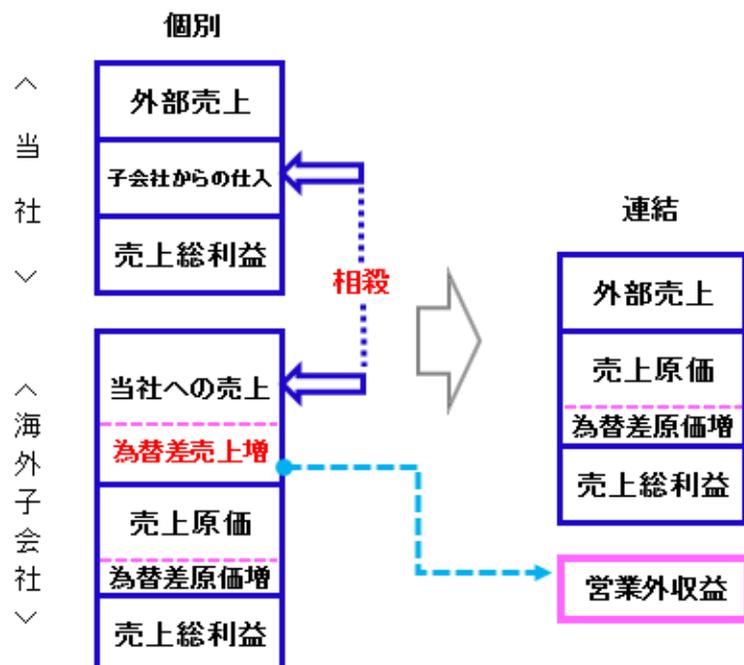
以上

図1 【連結決算における子会社売上の相殺】



当社グループの製品群には、当社（TOWA 株式会社）が半製品等を海外子会社から仕入れ（子会社の売上）、最終製品の外部売上を計上するものが多くあります。連結決算においては、この海外子会社の売上は当社の仕入と相殺され、売上高、売上原価及び各段階利益を算出します。

図2 【為替変動（円安）による営業外収益（為替差益）の計上】



当社は、平成 27 年 3 月期連結決算において、海外子会社の収益・費用を決算日レートにより換算していることから、海外子会社による円貨建売上金額と当社による円貨建仕入金額間に為替変動（円安）に起因する差額が生じます。

平成 27 年 3 月期の為替差益の内 381 百万円は、外貨建取引等会計処理基準三(3)に基づき、当該差額を営業外収益として処理したことによるものであります。したがって、当該営業外収益（為替差益）は、連結決算処理により発生するものであり、当社グループの期間損益が直接的な影響を受けたものではありません。

なお、経常利益では上記の連結決算処理の影響はなく、本来の収益額が反映されます。